

藤林 伸一

令和4年第4回定例会 一般質問



令和5年第1回定例会

福祉文教委員会 一般質問



《 令和4年第4回 一般質問より 》

問 SNS等によるトラブルを防止するために、情報モラル教育として「SNSノートおおさか」のカリキュラム化をしていって頂きたい。

答 各学校のICT活用推進委員の教員が中心となり、中学校区でのカリキュラム化をしていく。



《 令和5年第1回定例会 福祉文教委員会 一般質問より 》

問 離婚等の子ども支援制度について、夫婦で協議して離婚に関する条件を決め、合意書や離婚協議書を作成しても、その内容がきちんと守られなければ意味がない。例えば、養育費を払うと取り決めをしても、離婚から時間が経つと、徐々に養育費が支払われなくなる現状がある。公正証書には、約束した金銭支払いを履行しないときに、

裁判しなくとも支払義務者の財産を差し押さえる強制執行が可能になる特別な機能を備えることができる。離婚前の相談の際に、こうした知識を伝えることは大事ではないか。

答 公正証書でもって養育費の取り決めを行っておけば、速やかに強制執行の手続きを利用できるので、子どもを

監護する側の親にとっては、支払いの履行を求める上で重要なものと言える。制度を知らないために利用していなかったり、難しそうだからと利用しない人がいないよう、今後についても、より積極的に支援を行ってまいります。

要望 公正証書を作成するには費用がかかる。今後は、アドバイスの充実と費用負担への支援があれば、申し立てを行ってみよう、公正証書を作成しようと思う人が増えると思うので、ぜひともそういった補助についての実施をお願いしたい。



依田 眞美子

令和5年 第1回定例会

福祉文教委員会 一般質問



《 予算特別委員会での質疑 》

- 広報発行事業(声の広報・点字広報) ● 戸籍住民基本台帳義務事業
● 市営住宅管理費 ● 緊急通報装置設置事業 ● 生活困窮者自立支援事業

《 福祉文教委員会 》

小中学校教育活動への支援人材について

問 スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)等の学校への支援体制は?

答 臨床心理士であるSCは全ての小中学校に配置し児童生徒や保護者、教職員に対して教育相談を実施している。SSWは中学校区に1名ずつ社会福祉士の資格を持つ人材を配置し対応している。

学校図書館の充実にむけて

問 どのような体制ですすめているのか?

答 校内担当教員、図書館司書、本市の特徴でもある図書館ボランティアの方々の活動により環境整備を進めていただいている。

問 図書館司書・ボランティアの活動内容と関わって頂く良さや成果は?

答 本の仕分けや書棚の整理や展示の工夫、本の読み聞かせを行ってくださっている。



各学校にて「子ども達が来なくなる」「ほんが読みたくなる」場所になるよう環境整備が進んでいる。

問 そのような素晴らしい人材である図書館ボランティアが各校数名で人数の差があり、環境整備が進んでいないのでは?

答 今年度の実態把握を行いながら、次年度に向けて取り組みが進みにくい学校にも図書館ボランティアが関わっていける体制づくりをしていく。

要望 2月に小学校15校の図書館を視察し感じた事と提案があり質問をさせていただいた。図書館司書・ボランティア・校内担当教員との連携。そして環境整備の進んでいる学校をモデルにし子どもたちの居心地の良い居場所となる学校図書館としていただきたい。また「松原市子ども読書活動推進計画」を活用し児童生徒の現状を把握し、各校にて目標を設定し読解力の向上に向けての取り組みをお願いしたい。



公明党 KOMETO

松原市議会ニュース

第30号

松原市議会公明党議員団

河内 徹 / 依田眞美子
藤林 伸一 / 太田和之
〒580-8501 松原市阿保1-1-1
電話 072-334-1550 (内線 2360)

松原市 令和5年度 予算要望に伴う主な実績



子ども医療費助成制度の充実

令和6年1月より、子ども医療費の対象を高校卒業まで拡充することで、保護者の経済的負担を軽減いたします。



小・中学校給食費の無償化事業

令和5年度も小・中学校の給食費無償化を実施します。更なる子育て支援を推進するため、今後も継続を目指します。



予防接種費用助成事業

3種混合ワクチン・おたふくかぜワクチンの費用助成。子宮頸がんワクチンの9価ワクチンの導入を実現しました。



(仮称)北認定こども園建設事業

三宅幼稚園、恵我幼稚園及び第7保育所の3施設を統合し、令和7年4月の開園を実現しました。



危険空き家除去等補助事業

長屋の一部に居住がある空き家等に対し令和5年9月まで延長。安心・安全を確保します。



3つの応援事業を実現

新入学生・新社会人応援事業
令和5年3月より転入してきた新入学生・新社会人の家賃の一部を助成します。

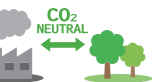


結婚新生活応援事業
令和5年1月より転入及び入籍届を提出した新婚世帯の生活費の一部を助成します。



ゼロカーボンシティ実現に向けた事業者支援

省エネルギー診断受診補助、脱炭素化設備導入補助で市内企業の脱炭素の取り組みを促進します。



胃ピロリ菌検査

40歳以上のピロリ菌検査について5歳刻みでの要件を撤廃し、希望者が検査を受けやすいようにしました。



ふるさと納税返礼品開発等支援補助事業

新たな返礼品の開発に取り組み事業者を応援するため、費用の一部補助を実現しました。



妊産婦応援タクシーチケット交付事業

妊産婦及び生まれた子どもが安心して外出できるようにタクシーチケットを令和5年度も継続して交付します。



皆様の声が届き実現!

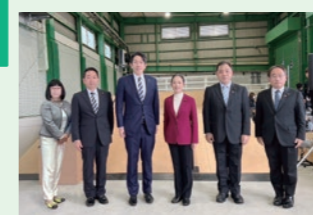
「道の両端が夜間見えにくい」とのお声を聴き国土交通省・河川事務所へ申し入れ! ラバーボールの設置を実現いたしました!

天美北8丁目4付近(大和川河川敷の遊歩道)



スケボーパークまつばらオープン!

松原市立部4-270に野外屋内スケートボード場が4月1日にオープンしました! 「スケボーのまちまつばら」を目指してまいります。



澤井市長に緊急要望を提出!

物価高騰から、エネルギーや食料品等の生活必需品目の値上げが著しく、特に市民の皆さまの家計を逼迫している現状です。国の物価高騰追加策に関する緊急要望を提出しました!

- 1. 令和5年度臨時プレミアム付商品券の実施
2. 自転車ヘルメットの中学生以下への購入助成
3. 夏に向けて高齢者への電気代の助成
4. 物価高騰対策事業者支援金の創設

(2023.3.27)



公明党 松原支部は、4名で頑張っていきます! 市政に関する事などお気軽にご相談ください。
河内 徹, 依田 眞美子, 藤林 伸一, 太田 和之

河内 徹

令和5年 第1回定例会
代表質問



QRコードから
議会の映像が
見れます



澤井市政の実績とこれからの展望について

問 今まで進めてきた総合的なまちづくりについての質問ですが、市民との協働を基本に置き、安心で安全なまちづくりを進めてこられました。人を呼び込むための取組や、これからの展望について、市のお考えをお聞かせください。



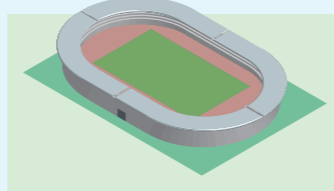
答 平成23年3月に策定した「第4次総合計画」では、「挑戦し続ける 元気あふれるまち まつばら」を目指し、平成25年には大阪府で初となるセーフコミュニティ国際認証を取得し、安心・安全なまちづくりを基本に、様々な成果を上げているところでございます。また、まちづくりを進めていくにあたり、セブンパーク天美のオープン、企業立地促進制度の実施による企業誘致や雇用の拡大、本年秋には新堂地区にハンズマン、イオンタウン松原もオープンする予定であり、更なる賑わいの創出が期待されます。

問 本年4月にオープンするスケボーパークまつばらを活用した取組について、今後どのような活用を考えているのか、市のお考えをお聞かせください。



答 現在、スケボーのまちまつばら推進協議会においてスケボーに関する様々な取組を検討しているところであり、今後については、多くの若者が賑わう施設となるよう協議会でプロジェクトを検討し実施していきたいと考えています。

問 大塚運動広場リニューアルについての提案として、テニス・サッカー・野球・スケボー・野外音楽堂、災害時の避難所等、オールマイティー人工芝を活用し、各スポーツ・音楽イベントにおいて対応できるような施設へと生まれ変わることを要望したいと思いますが、市としてのご意見は。また、近畿道高架下の有効利用も踏まえ、周辺地域の駐車場完備も視野に入れた、総合的な取組について市としてのお考えをお聞かせ下さい。



答 議員ご指摘の通り、地域の賑わいが創出できるよう、リニューアルも踏まえた、より一層魅力ある施設になるよう研究し検討してまいります。

問 若林地域の現状と周辺地域のまちづくりについてお聞きします。まちづくりについての意見交換やアドバイザー派遣による勉強会等、地域の皆さんに寄り添った姿勢でこれからのまちづくりについて進めていただきたいと思います。また、小川地域の活性化も踏まえた取組について、市としてのお考えをお聞かせください。



答 本地域の現状における土地利用の説明、また、まちづくりの手法としての土地区画整備事業の紹介をするなど、これからのまちづくりについての勉強会をかさね、地域の皆さんとの協働で進めてまいります。また、若林地域から西名阪高速道を挟んだ小川地域についても、活性化を図っていくことは重要であると考えております。現時点で具体的な動きはありませんが、今後も良好なまちの形成に取り組んでまいります。

問 大和川の南側の道路に橋を架け、若林地域利便性向上に伴う道路整備、雨水対策も踏まえた取組を進め、若林小川線の充実を図り、小川地域の活性化に結び付く総合的な取組をお願いしたい。

答 議員ご指摘の通り、地域の皆さんに喜んでいただけるまちづくりを目指し、取り組んでまいります。

問 新学習指導要領から見た松原市の教育について、主体的、対話的な学びの有効性についてお聞かせください。

答 子どもたちの資質・能力を育むために、学校の実態、指導の内容に応じ「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点から授業の在り方を見直し、改善を図っていくことが求められています。今後も豊かな教育活動の充実に向けて、教職員が授業力を高めるとともに、生きる力と、学力の向上につなげていこう、子どもたちに寄り添った教育の充実を図ってまいります。



問 GIGAスクール構想の現状と課題について、市のお考えをお聞かせください。

答 令和3年度以降、教科を問わず様々な場面でGIGA端末を活用した教育活動を進めており、AIドリルを使った補充学習や家庭学習等、新たな気づきやより深い学びにつなげていこう、充実を図ってまいります。

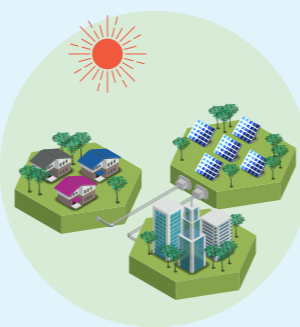
問 読書活動の充実について、市のお考えをお聞かせください。

答 子どもたちがより多くの図書に触れ、自主的、自発的な読書活動が進められるよう、学校図書館の利用の促進を図るとともに、読書の森や図書館ボランティア、学校図書館に配置している司書やPTAとも連携し、より良い読書環境の整備に努めてまいります。



問 コミュニティスクールの充実や、小中一貫に伴う施設一体型教育の充実を図り、子どもたちにより良い教育環境の整備を行うことについて、市としてのお考えをお聞かせください。

答 学校の教育環境の整備の充実について、少人数化や老朽化が進んでいる学校を今後どのようにしていくかという点で考える際には、子どもたちの学びにとってより良い環境か、また、安心・安全な環境かどうかを総合的に考えていくことが重要であると認識しております。今後も、魅力ある学校づくりの観点からも、施設一体型の教育環境の整備について研究をかさねてまいります。



問 クリエイト月ヶ瀬の現状についてお聞きします。

昨年より月ヶ瀬閉鎖に伴う土地の有効活用を考えるため、民間との意見交換も踏まえた調査研究を行ったとお聞きしており、月ヶ瀬を活用する業者を新たに探すのは難しいとお聞きをしております。45,000平米ある土地の利活用については、約半分の20,000平米を太陽光発電の整備することにより、約500世帯の電気の確保をすることが可能となるので、松原市の新たな財源確保にもつながっていくと考えられるが市としてのお考えをお聞かせください。

答 ご提案いただきました活用方法も可能性のある選択肢の一つであると思っております。これからも含め、幅広く可能性を研究していきたいと考えております。

問 町会運営についてお聞きします。

地域活動に対し、高齢化がもたらす担い手不足や、町会運営に伴う管理事務や申請業務等、町会が行う仕事がたくさんあります。これから5年、10年を見据えた町会運営等を考えた中で、地域との話し合いを進めながら今後どのように継続をしていくのか、市としてのお考えをお聞かせ下さい。

答 近年、高齢化や価値観の多様化などにより、地域コミュニティが希薄化する中、町会における地域活動の担い手が不足する現状にありますが、加入啓発用リーフレットや4コマ漫画等にて町会の役割を紹介したチラシを配布するなど、加入促進の取組を協働で進めているところでございます。議員ご指摘の通り、町会運営の軽減化をどのように進めていくのかについては、研究してまいりたいと思っております。



太田 和之

令和5年 第1回定例会
総務建設委員会 一般質問



人口増加につながる魅力的な公園づくりをお願い致します!!

問 「コロナ過の外出自粛」また「少子化」の影響もあり、夏の時期には草が伸びてきて「憩いの場」とは呼べない状況になる公園もございます。

維持管理が難しいのではとの思いもあり、公園の管理や今後の公園の在り方について、とりわけ、除草等の維持管理について今回改めてお聞きしたいと思っております。まずは、公園をどのように管理しているか教えてください。



答 市公園については、除草や樹木の剪定等を造園業者等へ業務委託しており、日常的な管理につきましてはシルバー人材センターへ委託しています。また、児童遊園についても樹木の剪定等を業者及びシルバー人材センターに、除草業務をシルバー人材センターに委託しています。また、一部の公園においては、地域の方にご協力いただき、公園内の清掃等を行っていただいているところもあります。



問 今後の公園のあり方についてどのように考えていますか。

答 今後の公園のあり方につきましては、ニーズに合った公園整備をしていくことで魅力ある公園にしていきたいと考えています。

まとめ 公園が魅力的になることは、松原市の印象に繋がり、人口増加へもつながると思います。今後、公園の統合や廃止も含めた市内の公園全体の在り方も含めてご検討をお願い致します。

